第35号

題字・持田日勇貫首猊下

発行日　平成２７年８月１５日

発行所　千葉県茂原市茂原 1201
日蓮宗東身延　本山藻原寺
TEL　0475-22-3153
発行責任者：増田 寶泉 総務執事

掲示板

日蓮大聖人大銅像建立
浄財勧募中

日本一の日蓮大聖人の大銅像を

建立致します。

当山の檀信徒並びに

各寺院の御住職、檀信徒の皆様方、

銅像建立に賛同していただいける方々の

ご協力を心よりお待ちしています。

お早めにお申し込み下さいますよう

お願い申し上げます。

貫首様のお言葉

日蓮大聖人大銅像建立に着手する

藻原寺は日蓮宗の由緒ある本山であります。

日蓮大聖人は建長五年（一二五三）四月二十八日に鴨川市清澄山で立教開宗（日蓮宗という宗派を立てること）をなさいました。

その後、鎌倉に広宣流布（法華経の教えを広めること）に赴く途中にこの茂原の地にいらっしゃいました。五月十一日のことであります。そして領主、齋藤兼綱公を教化なさいました。

その後建治二年（一二七六）に弟子日向上人を遣わして藻原寺の開堂供養をさせました。

ですから、当山の初祖は日蓮大聖人で、第二祖が日向上人です。

第三祖の日秀上人は日向上人のお弟子で、墨田妙源寺の開山であります。

以降代々の住職とその子弟がお寺を作って行きます。その寺院を末寺と言いますが、天明六年（一七八六）の徳川幕府の末寺帳によれば、藻原寺の末寺数は一〇三ヶ寺であります。

尚、当山に現存する天保六年（一八三五）の建物古書によれば、境内地は四万二十六坪で、そのうち徳川幕府から拝領された御朱印地が二万六千七百五十二坪含まれています。

御朱印地は明治維新の時に返還いたしましたし、その他に所有していた田畑十二町九反八畝十一歩余は昭和二十三年の農地解放によって取り上げられました。

檀信徒数は不明ですが、相当の数だと思えます。

藻原寺は広い境内地と田畑を所有し、多くの末寺に支えられ、檀信徒に守られ、本山としての体面を維持し、権威を保って来たのだとおもいますが、朱印地の返還、田畑の没収にも耐えて、今日あるのは檀信徒の外護のお陰であります。

檀信徒の方々には菩提寺を維持するために、不断に年会費を負担し、仏事を委託して、布施をなさって頂いています。

更に菩提寺の発展を図るために、時に当たり菩提寺の要請に応じて、浄財を寄進して下さってこられました。今後もこの伝統を維持していって頂きたいと願っております。

藻原寺はこの十三年間、布教活動を活発化し、境内地の整備と清掃を行って参りましたが、寺院会計から一億円の拠出をしたほか、二億円の不足を生じ、寄付金と借入金を以て補填してきました。

今後もこの趨勢は続いていきます。

そのために大銅像を造って日本国中の日蓮宗の檀信徒に参拝に来て頂き、運営資金の増加を図りたいと考えて、この事業を始めました。

平成二十二年に資金勧募を初めて五年になりました。

現在の寄付申込額は二億一千万円であります。そのうち他の寺院からの寄付金が一億二千五百万円で、檀信徒の寄付金が八千五百万円であります。

檀信徒の寄付応募者は二百二十軒であります。藻原寺の檀信徒は九百軒ですから、その内の二十四パーセントの方々しかご協力して頂いておりません。

本年三月、翠雲堂仏具店と契約し、大銅像の鋳造を委託いたしました。

二十メートルの銅造の骨組みを作り、石膏像の原型を造り、解体して、山形の鋳造所で鋳造をするのに三ヶ年の日時を要します。完成は平成三十年の初春となります。

費用は二億四千万円で、第一回分として八千万円を支払いました。平成二十八年末の第二回分八千万円は支払い可能ですが、平成二十九年度末の八千万円の支払いは現在のままではできません。是非ご協力をしてください。

お寺と苦楽を共にしてください。「異体同心ならば万事を成じ、同体異心ならば諸事叶うことなし」夢と希望をご一緒にしましょう。

行事記録

節分追儺会

（平成二十七年二月三日）

当山貫首持田日勇猊下を大導師に、二月三日午後三時より節分追儺会を厳修致しました。今年は総勢五十八名の年男福女の方々が参加し、福豆献上を山本晴彦様、福豆献上を齊藤晟様が行い、誓詞を三枝巖様が言上しました。その後、年男福女の方々の除厄開運、福禄倍増、年中無難を祈るご祈祷が行われました。

法要終了後、大堂前の桟敷より貫首猊下の「福は内」のかけ声と共に福豆やお菓子、景品番号が書かれたボールが年男福女より撒かれ、景品交換が行われました。節分に豆まきをするのは豆と魔滅の語呂合わせとも言われており、豆をまき、家の魔を追い払い、それと一緒に自分の心の魔も追い出し、厄落としをするという意味があったようです。

東日本大震災慰霊法要並国祷会

（平成二十七年三月八日）

東日本大震災慰霊法要並国祷会を三月八日に厳修いたしました。

法要に先立ち、大堂前にて本年度日蓮宗大荒行堂入行僧による水行式が行われました。導師は当山山務員冨永一真上人が務め、行僧の力強い水行に参拝者は感激していました。

午後二時より当山貫首持田日勇猊下を大導師に慰霊法要並びに国祷会が厳修されました。慰霊法要では妙法和讃が奉納され、僧侶檀信徒は読経唱題の中で水難横死の諸精霊に供養の志を供えました。

慰霊法要に続けての国祷会では本年度荒行堂初行入行僧五名による木剣祈祷が行われました。本年度は山務員の冨永一真上人、小坂田堯宗上人が入行、無事寒壱百日修行を成満し、入行前とはガラリと変わり果てた声、体に檀信徒は修行の厳しさを実感していました。

花祭り

（平成二十七年四月五日）

お釈迦様の御生誕を祝し四月五日に花まつりを厳修いたしました。天候不順により例年行っている茂原公園での稚児行列は中止となり、堂内にて記念撮影をいたしました。

十一時より大堂にて、当山貫首持田日勇猊下を大導師に釈尊降誕会を厳修いたしました。本年は十五名の天童稚児が参加し、御宝前の花御堂に設けられた誕生仏に灌仏、献灯、献花をして釈尊のご生誕をお祝いいたしました。

花祭りコンサート

（平成二十七年四月五日）

四月八日午後二時より本年で五回目を迎える花祭りコンサートが開催されました。今年も多くの方が来場し、ブーケ・デ・トンの四人による弦楽四重奏に観客は耳を傾けました。恒例となるヴィヴァルディの「四季」や昨年の朝の連続テレビ小説マッサンの主題歌「麦のうた」等多くの楽曲が演奏されました。

日蓮大聖人銅像寄附奉納者一覧

日蓮大聖人銅像建立の寄附に御協力いただきありがとうございました。
今後とも御協力宜しくお願いいたします。

平成二十六年八月一日～平成二十七年七月三十一日

新規申込者

申込金額	芳名
百万円	白井宗一郎殿
〃円	関谷昭憲殿
六十万円	齊藤節子殿
五十万円	小山要助殿
四十万円	常泉博志殿
三十万円	信行寺殿
〃円	石井忠徳殿
〃円	石井實殿
〃円	（有）和泉
〃円	電気商会殿
〃円	伊東喜久雄殿
〃円	今関よし江殿
〃円	鈴木常夫殿
〃円	田中義之殿
〃円	松本利幸殿
三十万円	松本芳子殿
〃円	丸山正芳殿
〃円	渡辺不二男殿
十万円	石川勝子殿
〃円	関野和子殿
〃円	塚本正殿
六万円	柔和会殿
五万円	成就寺殿
〃円	河野高之殿
〃円	河野富美代殿
〃円	河野昌章殿
〃円	鈴木公子殿
〃円	丸雅光殿
三万円	白井悟朗殿
〃円	飛留間康政殿
二万円	長谷川静歌殿
一万五千円	総代会殿
一万円	酒井祥有殿
〃円	根岸和ゑ殿

追加申込者

追加申込金	申込金額合計	芳名
五十万円	百万円	妙光寺殿
〃円	百万円	石川賢作殿
三十万円	三十一万円	齋藤嚴正殿
〃円	百五十万円	高梨富子殿
〃円	四十万円	長谷川俊明殿
二十万円	五十万円	川島鶴寿殿
〃円	三十万円	佐川ゑき殿
五万円	二十万円	板倉彪殿
四万一千円	十一万六千円	佐藤さんを偲ぶ会殿
一万円	二万円	片岡剛殿
三千円	一万三千円	戸枝敏美殿

合計金額　千二十七万九千円
総計金額　二億千二百五十二万三千円

奉納

鏡済寺様　鎗田泰夫様　堀口芳子様
高梨富子様　後藤妙子様　安藤正幸様
寺田三千代様　杉田忠聰様　関谷綾子様
麻生智恵子様　鎗田ナカ様　佐藤良子様
米沢山
鎗田ナカ様　野菜、味噌沢山
松廣よし子様　砂糖沢山
佐藤良子様　あんこ沢山

行事案内

八月二十四日（月）　十時
川施餓鬼、子育て観音大祭
九月二十三日（水）　十時
秋季彼岸会